

ビフィドバクテリウム・ロンガム由来のUDP-シュガーニリン酸化酵素、組換え型

Cat. No. NATE-1499

Lot. No. (See product label)

はじめに

説明 酵素学において、UTP-モノサッカライド-1-リン酸ウリジリルトランスフェラーゼ (EC 2.7.7.64) は、次の化学反応を触媒する酵素です: $UTP + \text{モノサッカライド-1-リン酸} \rightarrow \text{ニリン酸} + \text{UDP-モノサッカライド}$ 。したがって、この酵素の二つの基質はUTPとモノサッカライド-1-リン酸であり、その二つの生成物はニリン酸とUDP-モノサッカライドです。

別名 UTP-モノサッカライド-1-リン酸ウリジル転移酵素; EC 2.7.7.64; UDP-糖ピロリン酸化酵素; USP

製品情報

種	ビフィドバクテリウム・ロンガム
由来	大腸菌
EC番号	EC 2.7.7.64
CAS登録番号	223918-15-8
純度	SDS-PAGEによる最小95%
単位定義	1ユニットは、37°CでGal-1-PとUTPから1 μ molのUDP-Galを生成する反応を触媒する酵素の量として定義されます。